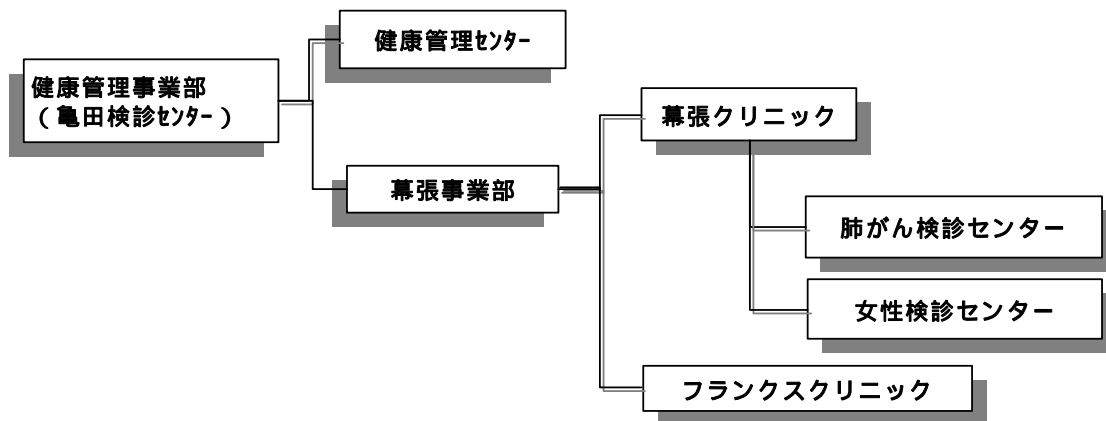


# 健康管理事業部 (幕張事業部を含む)

## 1. 2006 年度目標および方針

健康管理センター及び幕張事業部(総称して亀田検診センター：図 1)は、地域住民の健康維持増進の社会的使命に立ち、『正確な情報提供』と『快適性』の 2 点を目標としている。質の高い人間ドックを実施することはもとより、くつろげる施設、提供させていただく食事、スタッフの対応等サービス全般に渡り"快適性"をも追及していく視点を重視している。

図 1.健康管理事業部 組織図



## 2. スタッフ構成

健康管理センター長および幕張事業部長は光島徹が兼務し業務を統括している。幕張事業部は幕張新都心に位置する亀田総合病院附属幕張クリニックおよびフランクスクリニックの 2 事業所を総称している。幕張クリニック院長土井偉誉、フランクスクリニック院長光島徹。なお 2006 年 6 月 21 日付にて亀田メディカルセンター消化器内科部長和田亮一が幕張クリニックに異動、院長に着任し、名誉院長土井偉誉となった。スタッフ数は健康管理センター総計 31 名、幕張事業部総計 97 名(除く非常勤)。スタッフ全体は表 1-a、表 1-b のとおり。

表 1-a 健康管理センター

職種	健康管理センター		
	正職員	契約職員	常勤パート
医師	3	(消化器内科)	
看護師・准看護師	4		
臨床検査技師	10		
診療放射線技師	(画像診断センター)		
内視鏡技師	(消化器診断センター内視鏡室)		
薬剤師	(医療技術部薬剤室)		
事務	9	3	2
合計	26	3	2

表 1-b 幕張事業部

職 種	幕張クリニック				フランクスクリニック	
	正職員	契約職員	常勤パート	非常勤	正職員	非常勤
医師	5	4		25	1	1
保健師	1					
看護師・准看護師	14	4	7		3	
臨床検査技師	13	1			2	
診療放射線技師	7				1	
内視鏡技師	2					
薬剤師			1			
事務	15	9			7	
合計	57	18	8	25	14	1

\*派遣職員

### 3 . 2005 年度実績および今後の展望

#### 【亀田検診センター】

(健康管理センター・幕張事業部共通)

#### 1)沿革

亀田総合病院健康管理センターは院内の 1 部門として(1995 年より亀田クリニック内へ移転)1983 年に開設し、人間ドック 7 年間の実績を基礎に、1990 年 10 月に千葉市幕張新都心に亀田総合病院附属幕張クリニック、同地に 1991 年 10 月にフランクスクリニックを相次いで開設した。また 2002 年 10 月、幕張クリニック内にマルチヘリカル CT 検査装置を設置、肺がん検診センターを開設した。手狭になったフロアの拡張と女性のニーズに答える目的として 2005 年 4 月、女性検診センターを新設した。また高精度検診装置の充実を進め、2006 年 6 月超伝導高磁場 MR(1.5T)を設置した。健康管理センターは自然に恵まれた鴨川の地のリゾート型、幕張クリニックはビジネスの拠点としての都市型の間人ドックとして、また、フランクスクリニックは都市型のホテルライフと VIP 待遇を望まれる方のファーストクラスの間人ドックを提供している。

#### 2)特長

人間ドック検査項目は、日本病院会で提案されている検査内容に準拠し、各事業所ほぼ均一としているが、これまで特に力を入れてきているのが大腸内視鏡検査及び上部消化管内視鏡検査である。とりわけ、光島が赴任した 1983 年当初より他の施設に先駆けて実施したが、人間ドックの大腸内視鏡検査(オプション)で直腸から盲腸まで全大腸を観察する方法は、我が国の指導的立場にあり全国の標準検査法として定着している。一般的には非常に苦痛の大きい特殊な検査と考えられる全大腸内視鏡検査であるが、細くて柔らかい小児用のスコープの使用、X 線透視や麻酔を使わない愛護的なスコープの挿入技術の完成、食事制限や浣腸の不要な経口洗腸法の導入など長期にわたり検査の方法に様々な工夫、改良を加えた結果、全大腸内視鏡検査は多くの方が希望するオプション検査になっている。

#### 3)ISO9001

国際的標準規格である品質保証システム ISO9001 を取得している。2000 年 2 月に幕張クリニックが、同年 11 月に健康管理センターが取得した。このシステムをツールとして活用し、幕張クリニック

と健康管理センターの人間ドックサービスをどちらで受診しても同一品質のサービスが提供できることとなった。

#### 4) 定期健康診断

健康管理センター・幕張クリニックとも主に午後の時間帯に、事業所を対象とした定期健康診断を実施している。2005年度の受診者数実績は健康管理センター5,332名(内1,545名は職員健診、対前年比108.1%)、幕張クリニック3,267名(対前年比90.8%)であった。

#### 5) 院内勉強会の実施

人間ドック検査項目に関する基本的知識の共有および接遇面の向上のため、職種を超えて勉強会を実施している(健康管理センター計7回、幕張クリニック計6回)。

#### 6) 個人情報保護法への対応

2005年4月の法施行に伴い、情報の利用目的の明確化と提示、ドック結果の郵送方法の見直し等を行った。また亀田メディカルセンターと歩調を合わせプライバシーマーク(Pマーク)取得への準備を進めている。

#### 【幕張事業部】

#### 7) 『高精度検診機器』導入

長期的な視野にたち、高精度検診に対応した検査機器の導入準備を進めた。脳ドックのニーズへの対応、各種がん検診の精査装置として期待される、超伝導高磁場MR(1.5T)を設置し、2006年6月より稼動予定である。

#### 8) 『女性検診センター』開設

女性のみでゆったりと気兼ねなく診療や検査を受けられる『女性専用フロア』に大きいニーズがある。また女性はドック受診者のうちの1/3を占めており、今後も増加が見込まれる。2005年4月より人間ドックのみならず、婦人科/乳腺外科も併せ持つ『女性検診センター』を開設し、確実に受診者数の増加につながっている。また亀田メディカルセンターのARTセンターのサテライトとして、己斐秀樹医師の「不妊治療専門外来」を開設している。

#### 9) 『内視鏡室の拡充』

ドックオプション検査として、また外来検査として上部消化管および大腸内視鏡の受診者数増加および待ち時間の緩和を目的に検査室の増加が望まれていた。男性側に1室増加した。これにより幕張地区には男性3室、女性側に2室、フランククリニックに2室、計7室を要する消化器内視鏡センターとなった。

#### 10) 『電子カルテ』運用推進

受診者に目を向けた運用を考案しながら、電子カルテを導入している。いまだ不十分なところがあり、医療情報研究所のサポートをうけながら、運用推進・改善に努力している。

#### 11) 『フランククリニックのレイアウト変更』

受診者動線の効率化、内視鏡後の専用リカバリー室の新設、リフォームによるアメニティの充実等を目的に1Fクリニック内のレイアウト変更を検討し、準備を進めている。

#### 【健康管理センター】

#### 12) 『PET-CT 検診のお勧め』

幕張事業部での受診者も含め、人間ドック受診者の方を対象に、より高精度ながん検診をお受けい

ただけるよう PET-CT によるがん検診をお勧めしている。PET-CT センターは 2006 年 6 月稼動予定。

#### 4 . 外部団体認定施設等

- 1)短期人間ドック優良施設認定(日本病院会)：健康管理センター
- 2)1 日人間ドック優良施設認定(日本総合健診医学会)：幕張クリニック
- 3)日本消化器内視鏡学会認定専門医制度による指導施設認定(2003 年 12 月)：幕張クリニック
- 4)ISO9001:2000(BSI)：健康管理センター、幕張クリニック(亀田メディカルセンター)

文責：岡田 実

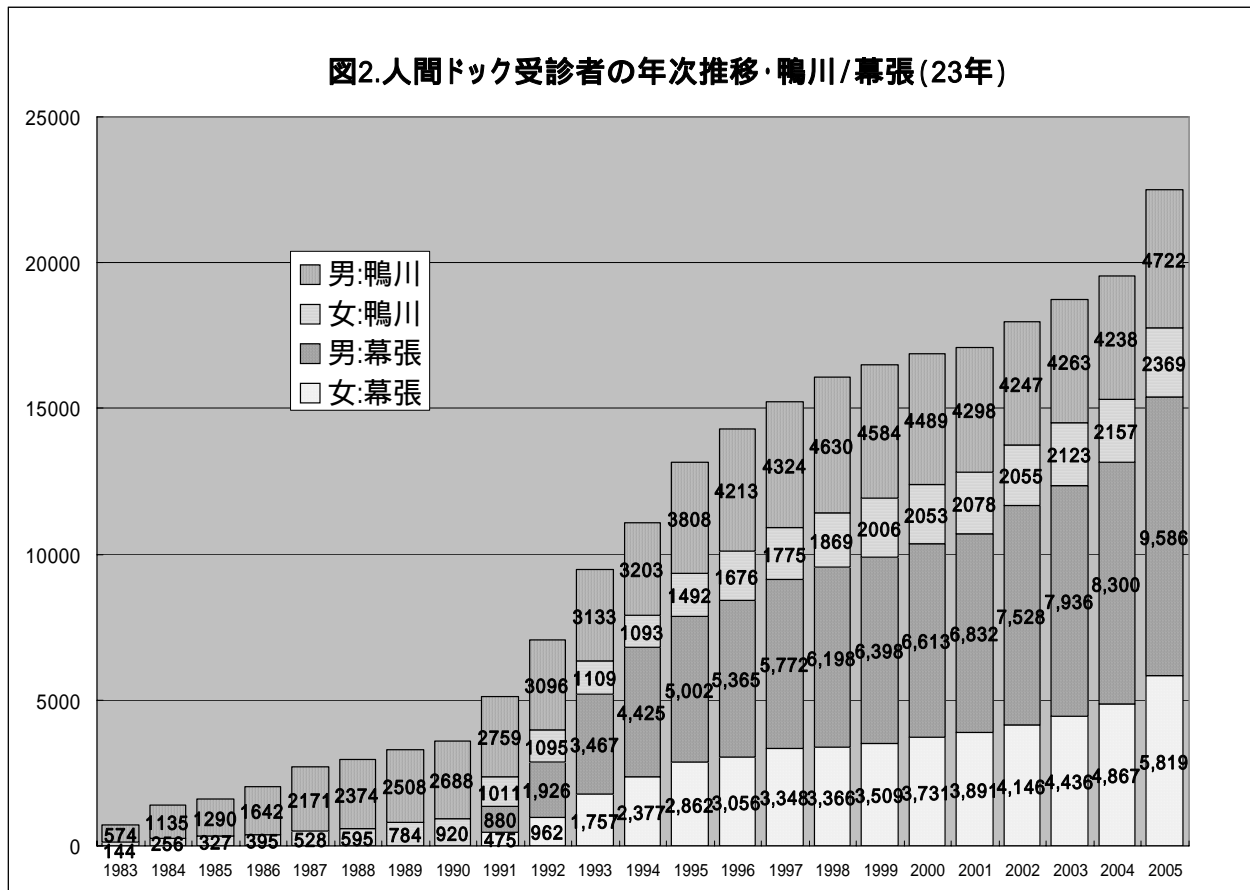
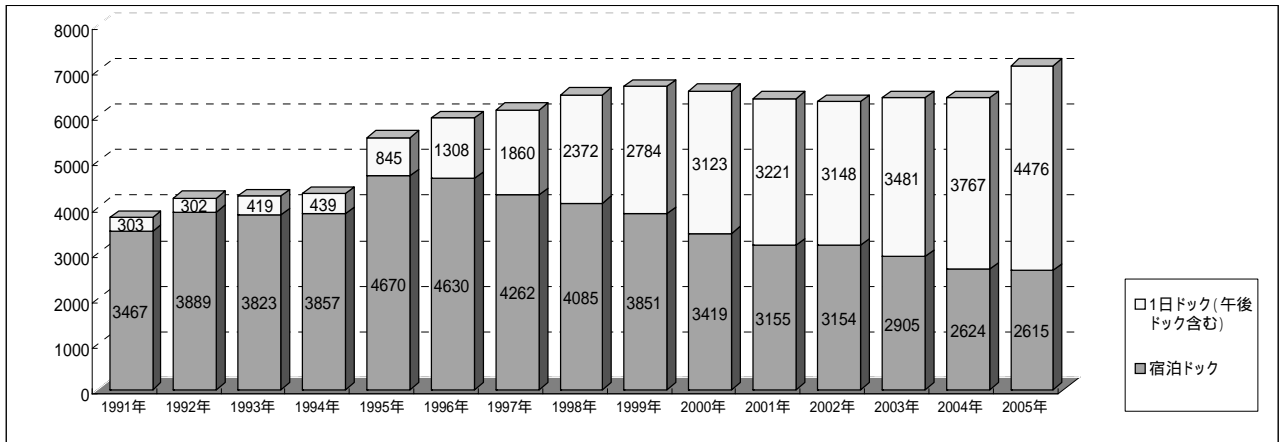


図3 受診場所別・人間ドック種類別・経年受診者数

健康管理センター



幕張クリニック

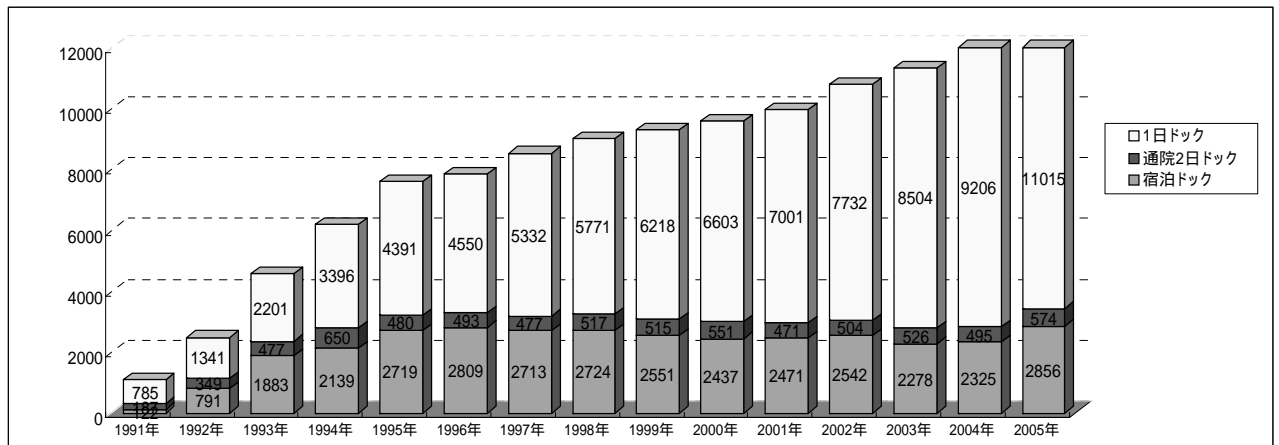
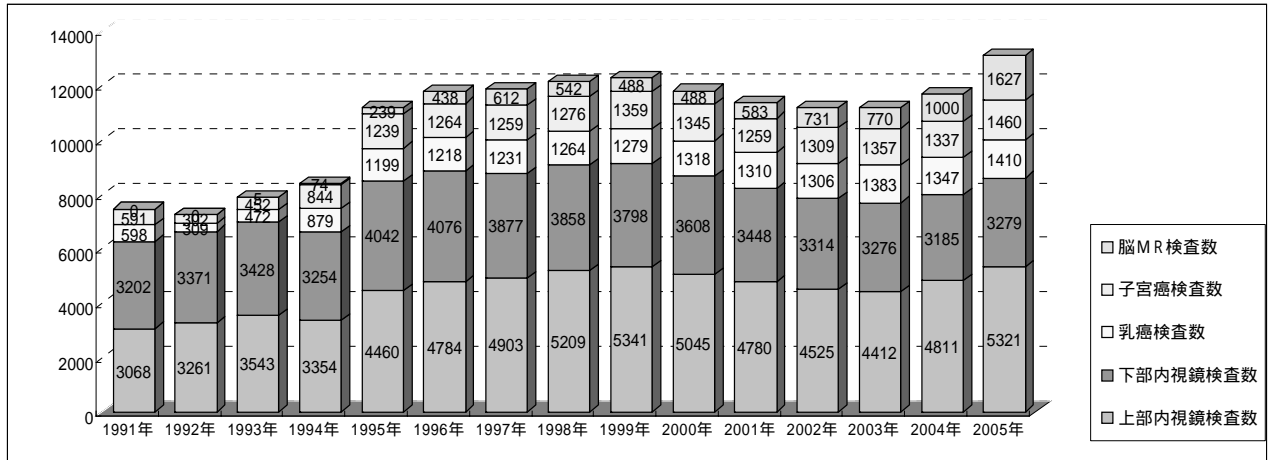


図4 受診場所別・主要検査別・経年受診者数

健康管理センター



幕張クリニック

